

モズク養殖技術交流及び流通実態調査

八重山支庁農林水産課 糸 数 正

1. 課題名

モズク養殖技術交流及び流通実態調査

2. 目的

八重山地域は漁船漁業が主体であり、養殖業については真珠養殖、真珠母貝養殖、車えび養殖が企業、漁協によって行われている程度であった。

平成5年9月の一斉更新にあたり、漁業者によるモズク、シャコガイ、真珠母貝養殖が行なわれ、魚類養殖についても沿整事業による養殖場の整備が進められ、養殖業に対する漁業者の期待が高まっている。

特に、モズク養殖については瀬底専技の熱心な技術指導の結果、石垣島、小浜島において積極的に取り組まれている。

しかしながら、養殖漁家が2経営体であるため漁協における対応が弱く、他地域との交流の機会がもてない状況にある。

また、離島であるため、生産物の出荷については養殖への取組みと並行して出荷方法、形態、経路等の対応を検討する必要がある。

このため、漁業者の養殖場に関する考え方、技術等について地域相互間の交流を行い技術、知識の向上を図るため、八重山漁協の養殖漁家を先進地に派遣し養殖技術、出荷輸送対策等の交流活動を行う。

3. 交流先

県漁連糸満冷蔵庫（モズク保管用）

糸満水産加工団地

本部漁協モズク加工場

水納島モズク養殖場

県栽培漁業センター

4. 日程

平成7年7月8日（土）

県漁連糸満冷蔵庫において長浜部長よりモズクの流通状況について情報収集。

糸満漁協お魚センターにて流通業者よりモズクの消費等について情報収集。

平成7年7月9日（日）

本部漁協モズク加工場にてモズク加工方法、技術について情報収集。

水納島モズク養殖場にて、養殖漁業者より技術、経営等について情報収集。

本部漁協会議室にてモズク養殖漁業者、理事、組合長、参事と交流会。

平成7年7月10日（月）

県営栽培漁業センターにて栽培施設を視察。

5. 参加者

池田 元 石垣市登野城

大城 清一 竹富町細崎（小浜島）

糸数 正 八重山支庁

6. 交流内容

(1) 漁連冷蔵庫（長浜部長談）

- ・後発の八重山でモズク養殖を行うには、早期出荷を狙う必要がある。
- ・現地で共同施設がもてないなら、生冷凍での出荷を考えなければならない。
- ・低価格での生産を覚悟しなければならない。
 $80\text{円}/\text{kg}(\text{単価}) \times 18\text{kg} + 600\text{円}(\text{加工経費}) + 300\text{円}(\text{輸送経費}) = 2,340\text{円}(18\text{kg入り一斗缶価格})$ これを基準とする。
- ・製品を統一すること、手入れを行い雑物を除去すること。
- ・できれば施設整備をしたほうがよい。
- ・糸モズクについても研究してみた方がよい。

(2) お魚センター

- ・各テナントには鮮魚、活魚、加工品等が並んでおり、八重山での雑魚をこういう所へ直接だせないものかとの所感あり。
- ・また、こういうものを八重山でもできないものかとの所感あり。

(3) モズク加工場

モズクの集荷、塩蔵、水切り、製缶、縄掛等の工程を視察し、八重山の現状（生産者が少ない）では共同処理場の設置は難しいが、製缶、縄掛の機械だけでも導入できないものかとの大城氏の談あり。

(4) モズク養殖場

本部駐在の諸見里普及員を通して、本部漁協の我部氏（本部における第一人者）の養殖場において養殖技術のご指導をお願いしたが、八重山の漁場に比べ苦勞が多いことに、両名とも感銘を受けたようである。

(5) 交流会

- ・漁協会議室で交流会をもったが、モズクの品質管理を徹底するため、網張箇所を数回変えること、網数を制限することなどに両名とも考えさせられるところがあったようである。
- ・シャコ貝の採取方法について、本部側から技術提供の要望があり、池田氏から後日採取道具を送付している。

(6) 栽培センター

種苗生産施設等を視察し、場長から情報収集を行ったが、池田氏がウニ漁業を行っていることもあり、特にウニの種苗生産について大きな期待をもったようである。

7. 所感

今回の技術交流にあたり、参加者にとってモズクの流通、生産について様々な情報を収集できたと思われる。参加者の池田氏から報告書が寄せられているので、普及員の手を加えず、原文のまま所感として報告する。

モズク養殖技術研修をおえて

池田 元

八重山のモズク養殖は平成5年9月1日の特定区画漁業権の免許交代で本格的になり、本格的になったといっても養殖技術の面やモズクの取り扱い面からみても今歩きだしたばかりの子供の様。

平成3年7月に水産業改良普及員の瀬底正武氏が、八重山でモズク養殖に関する講習会を行ったのがきっかけで、モズク養殖に対する考え方が変わり、本格的に取りくむようになってきました。

モズク養殖は県内各地で盛んに行われていますが、八重山でも昭和51年頃モズクブームが起り、漁業者グループがモズクの養殖を試み、失敗して以来手つかずの状態が続いていました。

養殖モズクは天然モズクと異なり、不純物の混入がきわめて少ない上に安定的に多くの収量が得られ、更に収穫から製品までの作業が天然物に比べて省力化されるなどのメリットがあるため、各地の漁協ではモズク養殖が活発に行われています。遅ればせながら八重山でも、漁業者グループがモズクの養殖に取り組んで勉強中です。

今回、八重山支庁の糸数正水産業改良普及員の引率で、沖縄本島各地で作られているモズクの製品管理状況や、本島北部の本部漁協でのモズク養殖の現状などを視察研修をすることができました。

まずはじめに、県漁連のモズク扱い高やモズクの品質管理を県漁連の事業部長長浜さんからお話を聞くことができました。今年は平年に比べてモズクの数量が少ないとの事、何よりも、品質管理一番と話しています。量より質の時代であり日頃の養殖管理を怠らないよう心がけるべきであるとか、具体的な品質のあり方、収穫したモズクは網イケースに入れておき、帰るまぎわに船に積み込む。水切りの良いカゴに入れ水切りを充分し、運搬時は直射日光を避ける。モズクは藻体の色が黄褐色で粘りがあるのが良い。モズク以外の物が混入しないよう心がける。汚れや泥がつかないようにする、モズクの大きさをそろえる。20センチ以上製品をそろっていたほうがよい、その他にモズクの

検量、選定基準のあり方などを話してくれました。

一方、モズクとは別に西崎にある糸満漁協の魚コーナーなどを見せていただきました。

那覇そして糸満での研修を終え、車は一路、山原路へと向かう。モズク養殖の本格的な視察研修は、ここ本部漁業協同組合の我部政祐さんの御指導で行われました。我部さんは沖縄県指導漁業士、そして本部漁協のモズク生産部会の部長でもあり、長年にわたりモズク養殖に取り組んできた方と聞いています。

私たちはさっそく渡久地漁港から高速船で、モズク養殖場のある水納島に渡った。そこで我部政祐さんと初めてお会いし、我部さんの舟で養殖場へと向かう。

本部駐在の諸見里聡水産業専門技術員も一緒にしてくれました。

我部さんがモズク養殖をしている場所はリーフのすぐ近くで、せっかくモズクが伸びて収穫前に大波になるとモズクが切れてしまう事がしばしばあるとのこと。網張の数も場所によっては、少ないところで4枚程度だと話しています。

海に入り網張の強さ、鉄筋の高さ、モズクの伸びぐあい、雑藻のつきぐあい、ポンプでのモズクの収穫のようす、そしてはやさなどじっくり見させていただきました。

八重山での養殖をはじめたものの、ほかの方々がどのような養殖をやり管理をしているのかなど、今回はじめて見る事ができ大変勉強をさせていただきました。

夜になり本部漁協で長嶺組合長さんをはじめ、参事の真栄田さん、我部さん、市川さん方の素敵

なおもてなしで懇談会に花を咲かすことができました。その中でもモズクの話が主で、本部ではモズク網を沖出しをして本張りをするまで計3回から4回の網の移動をするとの事、これは網に泥やほかの雑藻類を附着させないためと話しています。

八重山では種付をし1回の沖出しでその場で芽出を持ち、本張、移動なしで収穫できる。その事から考えると、本部でのモズク養殖は私達が考えている以上に大変な事だと思つづく考えさせられた。

我部さんや市川さんの話では網数は約200枚程度にとどめ、網の管理を充分におこない、良いモズクよるこばれるモズクを作るべき、網数を増やすほど網の管理が難しくなりモズクの品質に悪影響を及ぼすと話していました。

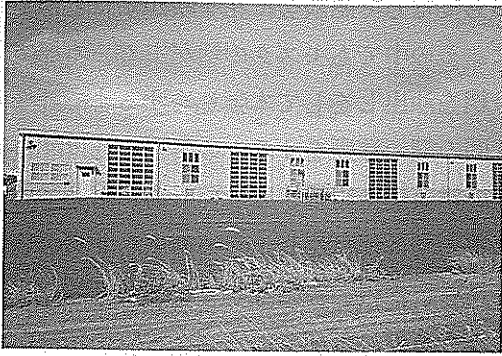
今回の視察研修は大変勉強になり。自分の目で見ると、さわる、ふれる、海の中に入り、ほかの人たちがおこなっている養殖をはだで感じる事ができました。

毎年失敗せず順調な生産を続けることを心がけ、これまで以上の成果を上げる努力をやっていきたいと思います。

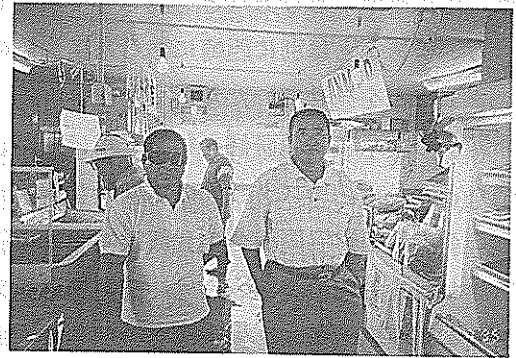
結びにあたり、八重山支庁農林水産課の水産業改良普及員の糸数正さんには2泊3日の日程で視察研修のスケジュール、そして引率、多数の方々を御紹介下さりまして誠に有り難うございました。

今後とも八重山の水産業発展のため、お力をお貸し下さいますようお願い申し上げます、視察研修の報告とさせていただきます。

平成7年8月24日(土)



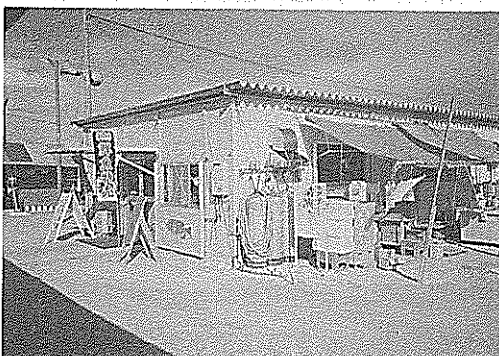
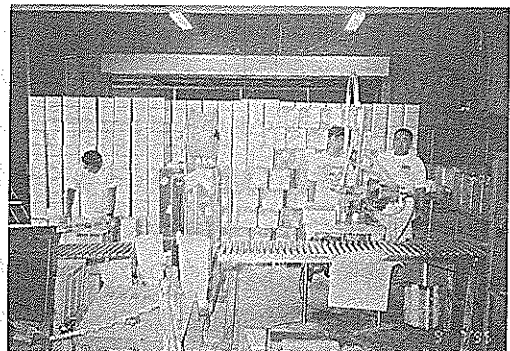
平成7年7月8日(土)
糸満 県漁連冷蔵庫(モズク保管用)



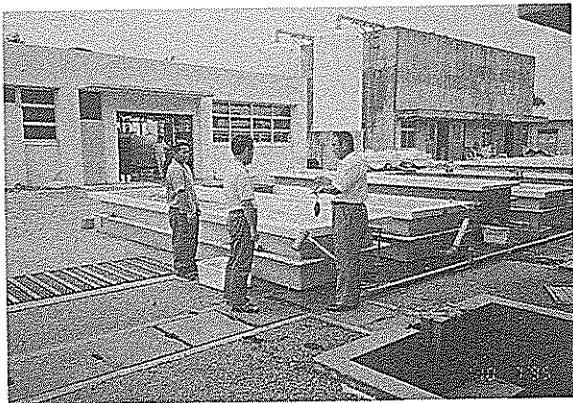
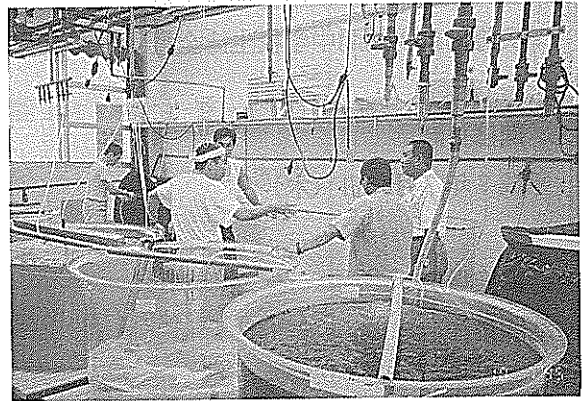
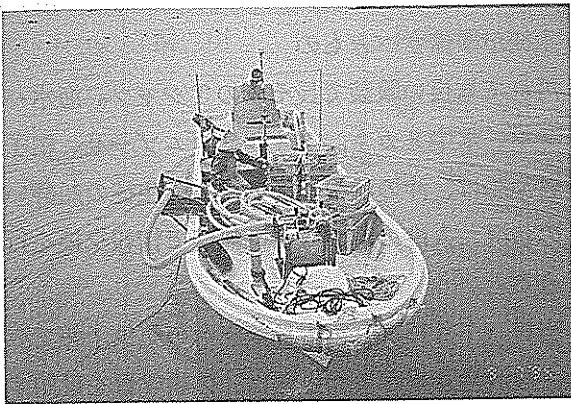
平成7年7月9日(日)
本部 本部漁協モズク加工場



平成7年7月8日(土)
糸満 お魚センター



平成7年7月9日(日)
本部・水納島 モズク養殖場



平成7年7月10日(月)
本部 栽培漁業センター